

「子どもの育ちと学びをつなぐ」保幼小連携

～「幼児教育・保育長期研修」を生かして～



山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

架け橋プログラムを通して…



先生がつながる



子どもがつながる



育ちと学びがつながる



- 1 幼児教育・保育長期研修について
- 2 架け橋期のカリキュラム開発会議等を含む体制づくり
- 3 架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス
- 4 教師の指導・援助及び子どもの学びの変化
- 5 持続可能な取組とするための工夫

※文中における「幼保小」、「子供」の表記は、山口県においてそれぞれ「保幼小」、「子ども」に統一しているため、以降の全て「保幼小」、「子ども」と記載しています。

1 幼児教育・保育長期研修について

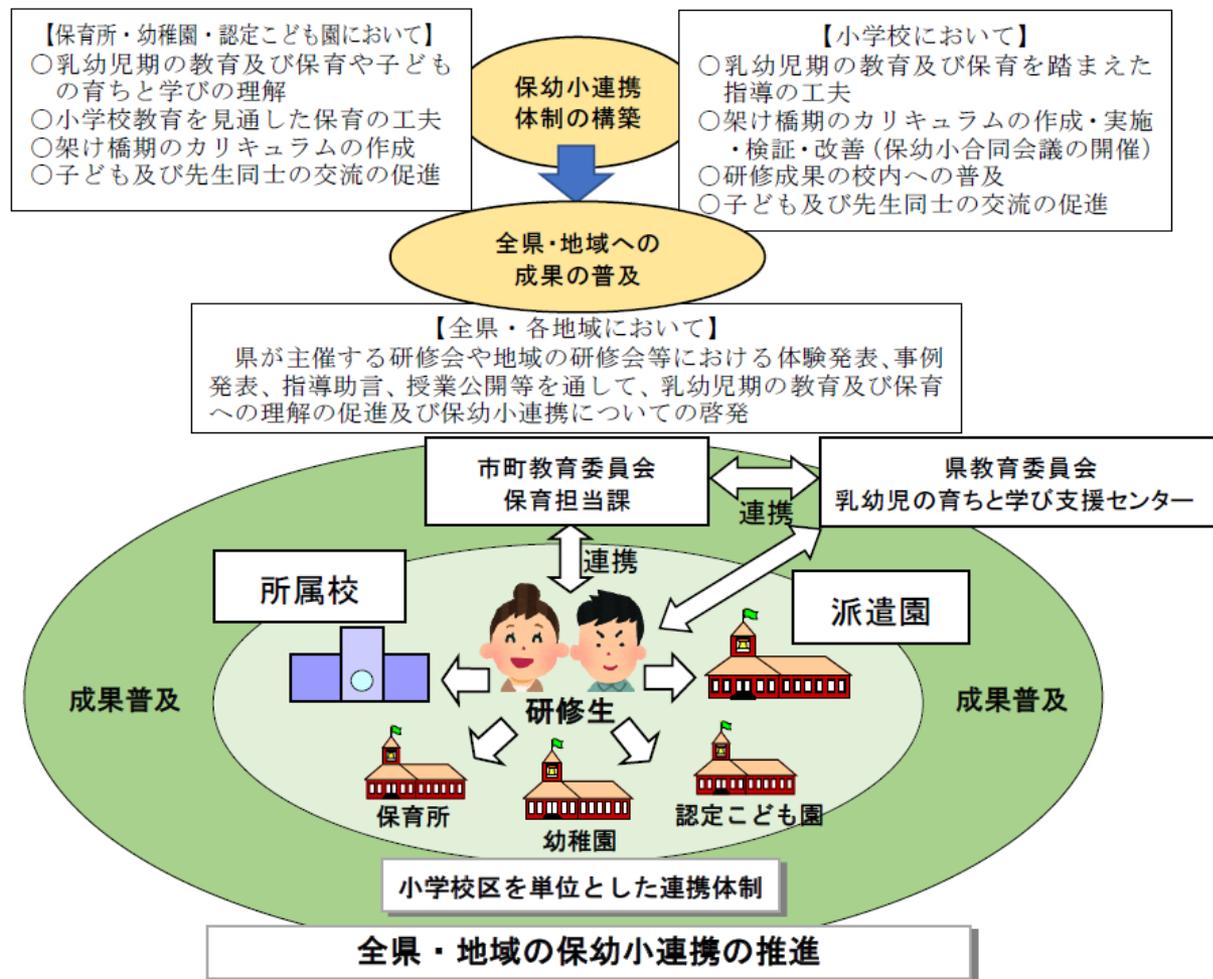


平成16年度に
スタート
研修生はこれまでに延べ81名

「幼児教育・保育
長期研修」
の派遣園・所属校



【協力園・協力校】

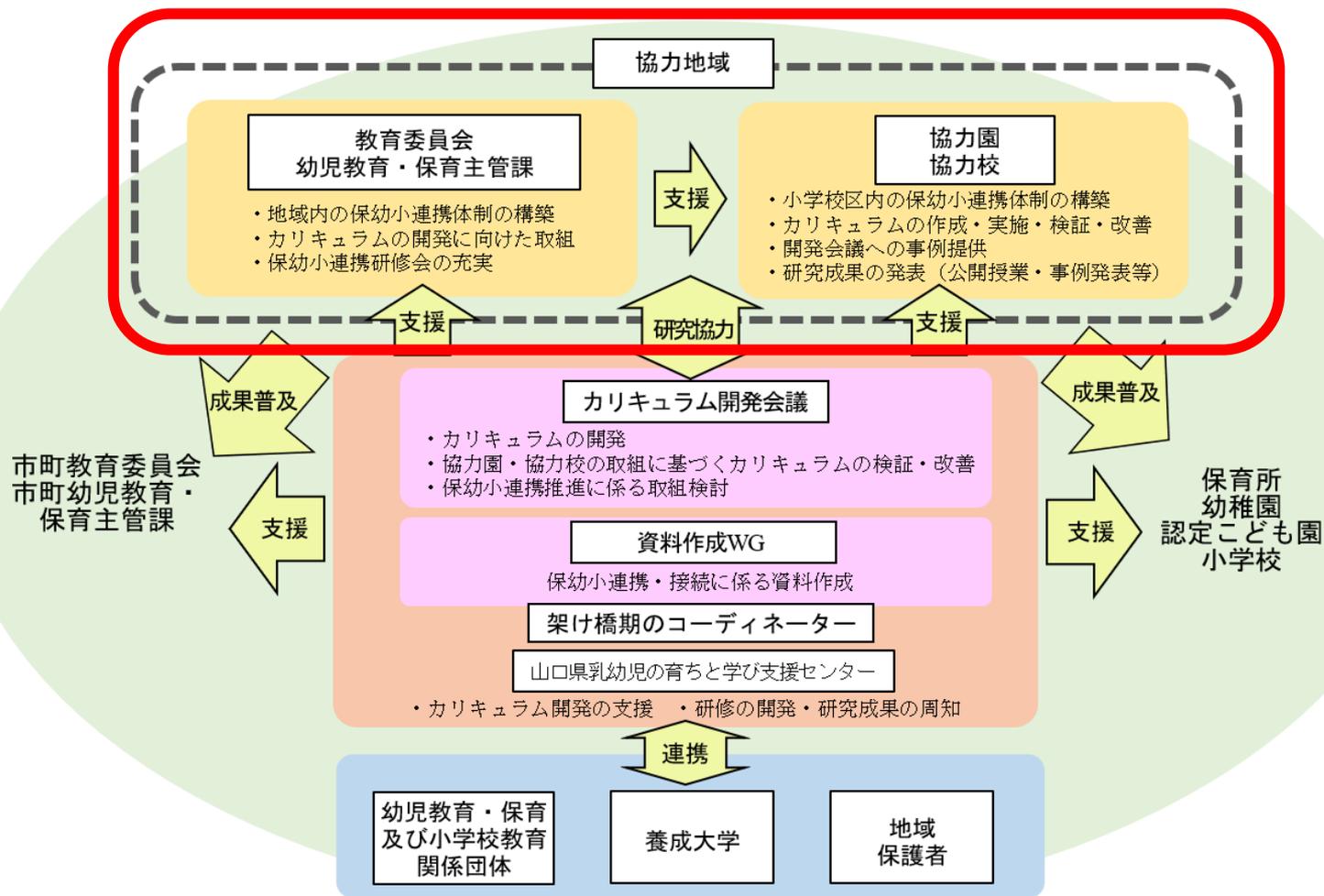


2 架け橋期のカリキュラム開発会議等を含む体制づくり



山口県架け橋プログラム推進体制

【課題】教育委員会と幼児教育・保育主管課の連携



山口県架け橋プログラム推進体制図

2 架け橋期のカリキュラム開発会議等を含む体制づくり



山口県架け橋プログラム推進体制

【課題】教育委員会と幼児教育・保育主管課の連携

○ 令和6年度市町保幼小連携担当者研修会

回	研修会の内容	日時(予定)	会場
第1回	架け橋期のコーディネーターによる講演、協議等	5月16日(木)午後	オンライン
第2回	市町・長期研修派遣教員取組発表、協議等	2月4日(火)午後	山口県庁

12の市町が教育委員会と幼児教育・保育主管課の担当者が同席で出席

【第1回研修会の参加者の感想】

- ・本市は市教委の先生と一緒に研修を受けた。同じ話を聞くこと自体が大きなことであり、研修の前後、講演や協議の合間にも様々な話をするのができてよかった。(保育主管課)
- ・子育て支援課と一緒に参加していたので、協議も園に関する部分については子育て支援課から意見をもらうことができ、他市町とも共感しやすかった。(教育委員会)
- ・対面研修にすると、他市町担当者とのつながりができる。(教育委員会)

2 架け橋期のカリキュラム開発会議等を含む体制づくり



山口県架け橋プログラム推進体制

【課題】教育委員会と幼児教育・保育主管課の連携

〇〇町保育園小学校連携協議会
(カリキュラム開発会議)



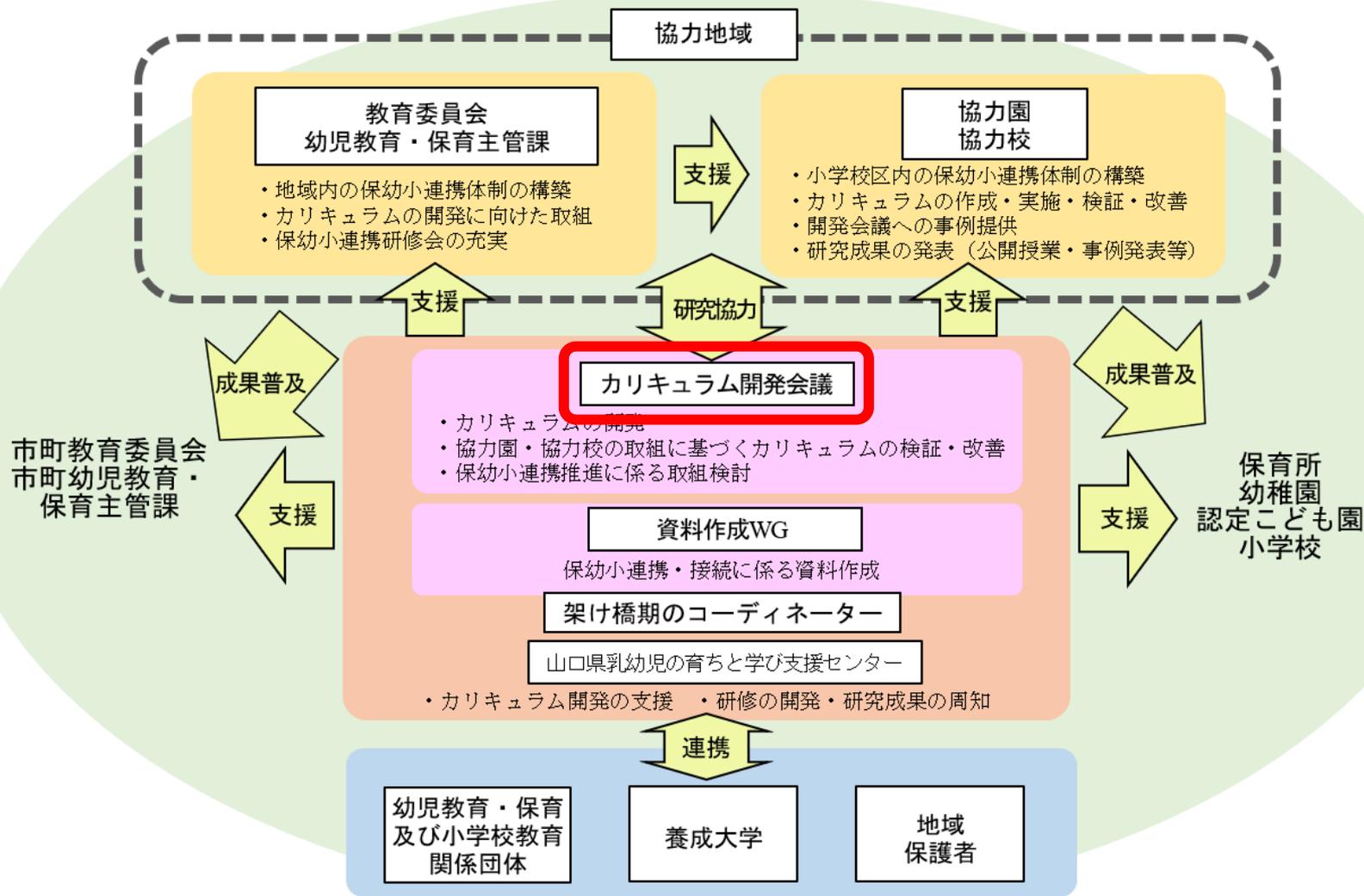
〇〇市保幼小連携研修会



2 架け橋期のカリキュラム開発会議等を含む体制づくり



山口県架け橋プログラム推進体制



山口県架け橋プログラム推進体制図

2 架け橋期のカリキュラム開発会議等を含む体制づくり



山口県架け橋期のカリキュラム開発会議

【課題】オール山口県 関係団体間の連携

	幼児教育・保育及び小学校教育関係団体	代表者
市外	学識経験者	養成大学教授等
	山口県保育協会代表者	保育所施設長等
	山口県私立幼稚園協会代表者	私立幼稚園長等
	山口県国公立幼稚園・こども園連盟代表者	国公立幼稚園・こども園長等
	山口県小学校長会代表者	公立小学校長等
	地域連携教育関係者	地域連携推進協議会委員等
	市町教育委員会代表者	保幼小連携担当指導主事等
	市町幼児教育・保育主管課代表者	保幼小連携担当者等
市内	教育庁義務教育課代表者	教育庁義務教育課主幹等
	教育庁特別支援教育推進室代表者	教育庁特別支援教育推進室指導主事等
	教育庁地域連携教育推進課代表者	教育庁地域連携教育推進課社会教育主事等
	総務部学事文書課代表者	総務部学事文書課主任等
	健康福祉部子ども子育て応援局こども政策課代表者	健康福祉部子ども子育て応援局こども政策課主幹等
	乳幼児の育ちと学び支援センター	乳幼児の育ちと学び支援センター次長等

3 架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス



作成プロセス

【課題】事例を基にした架け橋期のカリキュラムの開発

【架け橋期のカリキュラム開発会議と協力園・協力校との研究協力】

カリキュラム開発会議

- ・カリキュラムの枠組みの開発
- ・園・小学校の取組に基づくカリキュラムの検証・改善
- ・保幼小連携推進に係る取組検討

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

- ・カリキュラム開発の支援
- ・研修会の開発
- ・研究成果の周知

研究協力

協力園・協力校

幼児教育・保育長期研修生
(派遣園・所属校)

- ・開発会議への提言、事例提供
- ・カリキュラムの作成・実施・検証・改善
- ・研究成果の発表

3 架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス



作成プロセス

【課題】事例を基にした架け橋期のカリキュラムの開発

【架け橋期のカリキュラム開発会議と協力園・協力校との研究協力】

- 会議で協議した「共通の視点」を使って研修生がカリキュラムを作成
- 「有効に働く視点となっているか」「もっと効果的な視点はないか」検討

 会議への提言及び更なる協議

架け橋期のカリキュラム作成事例①

【特色】

- 市立幼稚園アプローチカリキュラムを基にした、架け橋期のカリキュラムの作成。
- 園の活動と小学校の学習のつながりを明確にできるように工夫。

【長期研修生の意見】

- 初めに考えていた共通の視点よりも、かなり視点を抜粋してつくることになった。
- たくさんの内容を盛り込みたかったが、フォントが小さくなりすぎ、読みづらかったため、情報量を調整した。
- お互いがやっていることを伝えるためには、もっと詳しく、具体的なものが必要だと感じた。

研修生の会議への提言



山口県の架け橋期のカリキュラムについて

【山口県の架け橋期のカリキュラム開発の方向性】

- 地域、園、小学校が創意工夫しながら、それぞれの特色を生かしてカリキュラムの作成ができるようにする。
- 山口県における「共通の視点」例及び実践事例を示すことにより、各園・小学校、市町が架け橋期のカリキュラムを作成する上での手掛かりとできるようにする。



架け橋期のカリキュラムの共通の視点について

【山口県として共通の視点例】(案)

- 子どもたちの現状
- めざす子ども像
- 育みたい力(資質・能力、ねらい)
- 育ちと学びのつながり(10の姿、園での活動と教科)
- 人のつながり
 - ・ 子ども同士のつながり(交流活動)
 - ・ 先生同士のつながり(合同会議・研修会)
 - ・ 家庭とのつながり・地域とのつながり
- 指導上の配慮事項(「つながり」に関するもの)
 - ・ 先生の関わり・環境の構成

3 架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス



架け橋期のカリキュラム例①

【課題】県内への架け橋期のカリキュラムの事例提供

園・小学校で1枚
子どもの姿を記す



4月		3月		4月		8月 9月		3月			
こ と も の 育 ち や 学 び の つ な が り	知識・技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性等	〇生活や活動の見通しをもち、考えて行動する。【①②】 〇運動会や発表会に向けて、自分達も内容を考えたり、友達と協力したりする。【③④⑩】 〇自分の気持ちを先生に受け止めてもらったり、行動を振り返ったりすることで、友達の思いやきまりの必要性に気づき、行動する。【④⑤⑥】 〇散歩や遠足などの園外保育で、公共施設を大切にすることで社会とのつながりを意識する。【④⑤】 〇みんなで使う物を大切にしたり、片付けたりして、自分で生活の場を整え、その必要性を理解する。【①④⑤】 〇ごっこ遊びの中で生活に必要な文字や数字、標識などに興味をもち、使うことで伝わる喜びを味わう。【⑩】 〇日々の生活を振り返り、楽しかったことを話したり聞いたりする。【③⑤⑨】 〇絵本や童話などの内容を子ども自らの経験と結び付けたり、思いを巡らせたりして、思考力・想像力を豊かにする。【⑥⑩】 〇自分のイメージしたものをひやかに表現し、友達同士で表現する過程を楽しみながら、喜びを味わう。【⑩⑩】 〇自然に触れて感動する体験を通して、好奇心や探求心をもち、身近な動植物を命あるものとして大切に。【⑥⑦⑩】 〇園生活の中で充実感や満足感をもち、自分のやりたいことに向かって前向きに取り組む。【①②】 〇園生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや思い巡らせたことを自分で表現する。【⑥⑨⑩】 〇仲間の意思を大切にしようとし、友達の主張に耳を傾け、共感したり意見を言い合ったりする。【③⑥⑨】 〇様々な経験や対人関係の広がりから自立心を高め、就学への意欲や期待をもつ。【②⑤】		①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形・標識や文字などへの関心、感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現		幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿		〇自分でできることを自分でしようとする。【②】 〇気持ちのよい挨拶や会釈、返事をしようとする。【①】 〇必要なものや日課を自分で準備しようとする。【②】 〇時間を意識して行動しようとする。【①②】 〇楽しくマナーよく給食を食べようとする。【①⑤】 〇先生や友達の顔と名前を覚え、進んで関わろうとする。【③】 〇分からないことや困ったことは先生や友達に聞こうとする。【③】 〇学校のきまりを知り、ルールを守って生活しようとする。【④】 〇進に合った言葉遣いの大切さを知り、使おうとする。【④】 〇学校応援団など地域の方とのふれあいを楽しむ。【⑥】 〇教科等の学習に興味・関心をもつ。【⑥】 〇校庭の自然に触れて、その変化を感じる。【⑦】 〇自分たちの遊びや生活、学習の中で楽しみながら数えたり比べたりする。【⑧】 〇友達や先生との会話を楽しむ。【⑨】 〇友達と楽しく歌を歌ったり、絵を描いたりしようとする。【⑩】		〇学級や学校での過ごし方について知り、見通しをもって学校生活を送ることができる。【①】 〇登下校や学校生活の中での安全な過ごし方について考えたり判断したりすることができる。【①】 〇生活や学習の中で、めあてをもって取り組み、振り返ることができる。【②】 〇係や当番活動など自分の役割を果たすことができる。【②】 〇学校行事を通して、新しいことや初めてのことに進んで挑戦し、友達と協力しながら活動することができる。【③】 〇相手の立場に立って考えたり、気持ちに寄り添おうとしたりすることができる。【④】 〇よいことと悪いことを判断し、よいと思うことを進んで行おうとする。【④】 〇友達との関わりの中で思いやりをもって言葉をかけ、行動することができる。【④】 〇行事や交流を通して、自分の成長や頑張り、友達のよさに気づくとともに、いつも自分を支えてくれる周りの人にも目を向け、感謝の気持ちをもつことができる。【⑤】 〇探究心をもって予測したり、試したりして主体的に学習に取り組むことができる。【⑥】 〇植物や生き物と関わり、生命を大切にしようとする。【⑦】 〇数量や図形、標識や文字などを生活や学習の中で使うことができる。【⑧】 〇いろいろな場面での話し合い活動を通して、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたり、賛同したりすることができる。【⑨】 〇読書習慣を身に付け、言語に対する興味関心を広げるとともに、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現することができる。【⑨】 〇自分のイメージを動きや言葉、絵などで表現することの楽しさを味わう。【⑩】	

※各園の特色に応じて変更も可能です。

※各校の特色に応じて変更も可能です。

3 架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス



架け橋期のカリキュラム例②

園・小学校で1枚ずつ「めざす子ども像」に関連する内容を記す

令和6年度周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム（小さき花幼稚園）

対象	5歳児												架け橋となる幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
時期	年長となった喜びを感じ、張り切って新しい生活を楽しむ時期				気の合う友達と遊ぶ中で、仲間意識が育っていく時期				友達との関わりを深めながら、活動や遊びを充実させていく時期				友達と共通の目的に向かって意欲的に取り組む時期	一年生になることへの期待が高まり、活動への取り組みに自信が見られる時期
①架け橋期にめざす子供像	自分の思いをもち、喜んで表出しあおうとする子						思いやりをもち、友達と一緒にさいごまで頑張りぬく子							
②育みたい力(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 年長になったことへの喜び、自覚 身の回りにある自然に興味・関心を持ち、命の尊さを感じる心 自分の思いを伝える力、友達の意見にも耳を傾ける力 						<ul style="list-style-type: none"> すすんで年少・年中児とかかわり、優しく接したり、助けたりしようとする力 自立心 友達と力を合わせ生活をすすめていく力 自分の力を発揮しながら、友達と共通の目的に向かって活動に取り組む力 							
③育ちと学びのつながり(活動・教科等)	<ul style="list-style-type: none"> 1学期始業式 挨拶・排泄・持ち物の始末 食事の見直し 交通安全教室 親子遠足(動物園) 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練(火災・不審者) 親子の集い 朝ご飯チャレンジ お泊り保育 1学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断 2学期始業式 岐陽中職業体験 徳山小学校探検 体操参観 避難訓練(不審者・火災) 運動会 ミニ運動会 歯磨きチャレンジ 秋まつりジュース屋さん 	<ul style="list-style-type: none"> バス遠足(みかん狩り) 保育参観 七五三祝福式 避難訓練(地震) クリスマス会(劇発表会) クリスマスパーティー 2学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期始業式 ホットケーキ作り 郵便ごっこ 避難訓練(火災・消防車見学) 豆まき カレーパーティー ひなまつり会 ドッジボール大会(2画) 音楽発表会(合奏・歌) お別れ遠足 お別れ会 卒園式 	①健康な心と体								
	<ul style="list-style-type: none"> こいのぼりの制作 動物を作ろう 自然(園庭の花)の観察 描画 	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び 絵の具の混色でジュースを作ろう 七夕飾りを作って飾ろう 朝顔を描こう 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の思い出を描こう コスモスの描画 	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びを描こう クリスマス制作 サツマイモでスタンプして遊ぼう 	<ul style="list-style-type: none"> よく見て描くと楽しいよ(自転車) 鬼のお面づくり わたしの夢を描こう ステレン版画(教会) 	②自立心								
	<ul style="list-style-type: none"> リレーあそび 走力測定(20Mのタイムを測る) 	<ul style="list-style-type: none"> 跳び箱あそび(開脚飛びに挑戦してみよう) 鉄棒あそび(前回り・逆上がりに挑戦してみよう) 	<ul style="list-style-type: none"> 走力測定(1周のタイムを測る) 運動会遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊び(キャッチボールや的のあて、遠投をしてみよう) 	<ul style="list-style-type: none"> ドッジボール大会 縄体操 	③協同性								
	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカにさわってみよう 	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカで短い曲を演奏してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカでいろいろな曲に挑戦してみよう 楽器遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な歌で思いを表現しよう 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽発表会をつくりあげよう 	④道徳性・規範意識の芽生え								
④人とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士のつながり(交流活動) 指導者同士のつながり(合同会議・研修会) 家庭とのつながり 地域とのつながり 												⑤社会生活との関わり	
	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談 保護者会総会 親子遠足 園開放 												⑥思考力の芽生え	
	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談 体操参観 親子の集い 園開放 												⑦自然との関わり・生命尊重	
⑤指導上の配慮事項(「つながり」に関するもの)	<ul style="list-style-type: none"> ●進級したことの喜びや、緊張、不安などの心の動きを受け止め、寄り添う。 ●クラス全体ではわかりやすいルールで友達とふれあえたり、皆で盛り上がりがあったりできるような活動を取り入れる。 ●生活習慣や園生活の決まりを見直す。 ●一日の予定を文字や図で示し、見通しをもって遊びや生活に取り組めるように 												⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	
●指導者の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ●衛生面に留意し汗の始末や水分補給の大切さを知らせ、自分から行動できるように促す。 ●避難訓練を通して、命について考えられるような教材を準備し、問いかける場面を設ける。 ●朝顔をクラスで植え、水やりなどを一緒にする中でその成長に関心がもてるようにする。 ●朝ご飯チャレンジカードを使い、頑張りや継続を可視化する。 												⑨言葉による伝え合い	
○環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> ●運動会に向けて各自の取り組み・思い・タイム等が可視化できるように運動会のあゆみシートを準備する。 ●運動会の種目を自分で選ぶために、パルキューブ・表現体操の体験を繰り返して行う。 ●上記の2つの種目のうちから運動会で自分のやりたい方を、1つだけ選 												⑩豊かな感性と	
	<ul style="list-style-type: none"> ●みかんの絵本をよんだり、クイズを出したりすることにより、季節の果物への関心を高める。 ●バスに乗る順や並び順を示し、視覚的にわかるようにする。 ●クリスマス会の劇についての内容が深まるよう絵本をよんだり、登場人物の心情を問いかける。 													
	<ul style="list-style-type: none"> ●はがきや郵便ポスト、書き方の見本などを準備し、手紙のやり取りを通して、文字や数量への関心がさらに高まるようにする。 ●日本の伝統行事を知り親しめるよう話をし、飾りを出したり話したりして関心を高める。 ●園で最後の発表会として、曲目を何曲か準備し、自分たちで選んで楽しむことができるようにする。 ●友達の歌声や楽器の音に気付くことで、合わせる心地 													

4 教師の指導・援助及び子どもの学びの変化



協力園・協力校の事例から

【課題】子どもの姿を基にした対話による相互理解及び指導・援助の工夫

【協力園】

- ① 小学1年生の授業参観から、思いの伝え合いに関する子どもの育ちを見通し、改めて、園で必要な経験や大切にしたいことを意識して保育に取り組んだ。子どもが思いの伝え合いを主体的に進め、そのことを喜ぶ姿が見られた。
- ② 小学校と協議して設定した「めざす子ども像」の育成に向けて、子どもの思いを引き出す関わりを意識した。目標を自分で決めたり、活動に対する気づきを深めたりする子どもの姿が見られた。また、子どもの姿から保育を見直そうとする意識が高まった。

【協力校】

- ③ これまでは、子どもたちに、教師が設定した活動を提示し、指示を出すことが多かったが、今は、1年間を通して、様々な場面において、園での経験や活動したいことを尋ねている。
- ④ 生活科の授業づくりにおいて、園での子どもの経験や環境構成を参考にした。意欲的に学習に取り組む子どもの姿が見られるようになった。
- ⑤ 園と小学校で指導・援助をつないでいる。「選ぶ」をキーワードにして、子どもが選択・決定する場面を多く作ることで、主体的な行動が見られるようになってきた。

4 教師の指導・援助及び子どもの学びの変化



協力園・協力校の事例から

事例②

*架け橋期にめざす子ども像

○自分の思いや願いをもち、

喜んで表出しあおうとする子

○思いやりをもち、

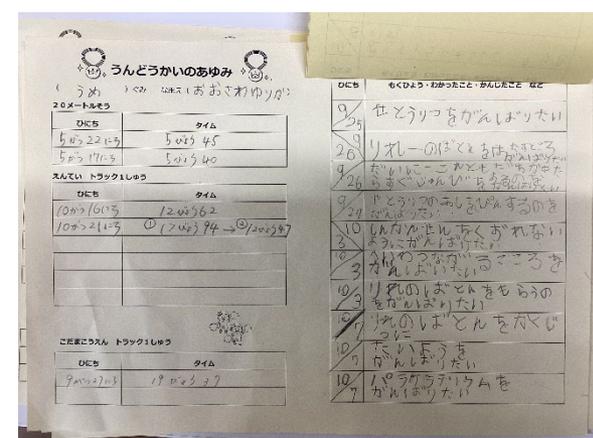
友達と一緒に挑戦しさいごまで頑張りぬく子



映像をもとにした分かち合い



絵による表現



運動会のあゆみ

○ 自分で目標を決めたり、気づきを深めたりしながら、子どもたちなりによい表現体操を作り上げようとする姿がみられた。

○ 子どもの姿から保育を見直そうとする意識が高まった。

4 教師の指導・援助及び子どもの学びの変化



協力園・協力校の事例から

事例③ 【課題】幼児教育・保育を踏まえた実践の提供



ドキュメンテーションによる園での経験の想起



園の環境構成を参考にした場の設定



○ 安心感をもちながら、経験をもとに遊びを工夫したり友達と関わったりするなど、主体的に活動に取り組む姿が見られた。

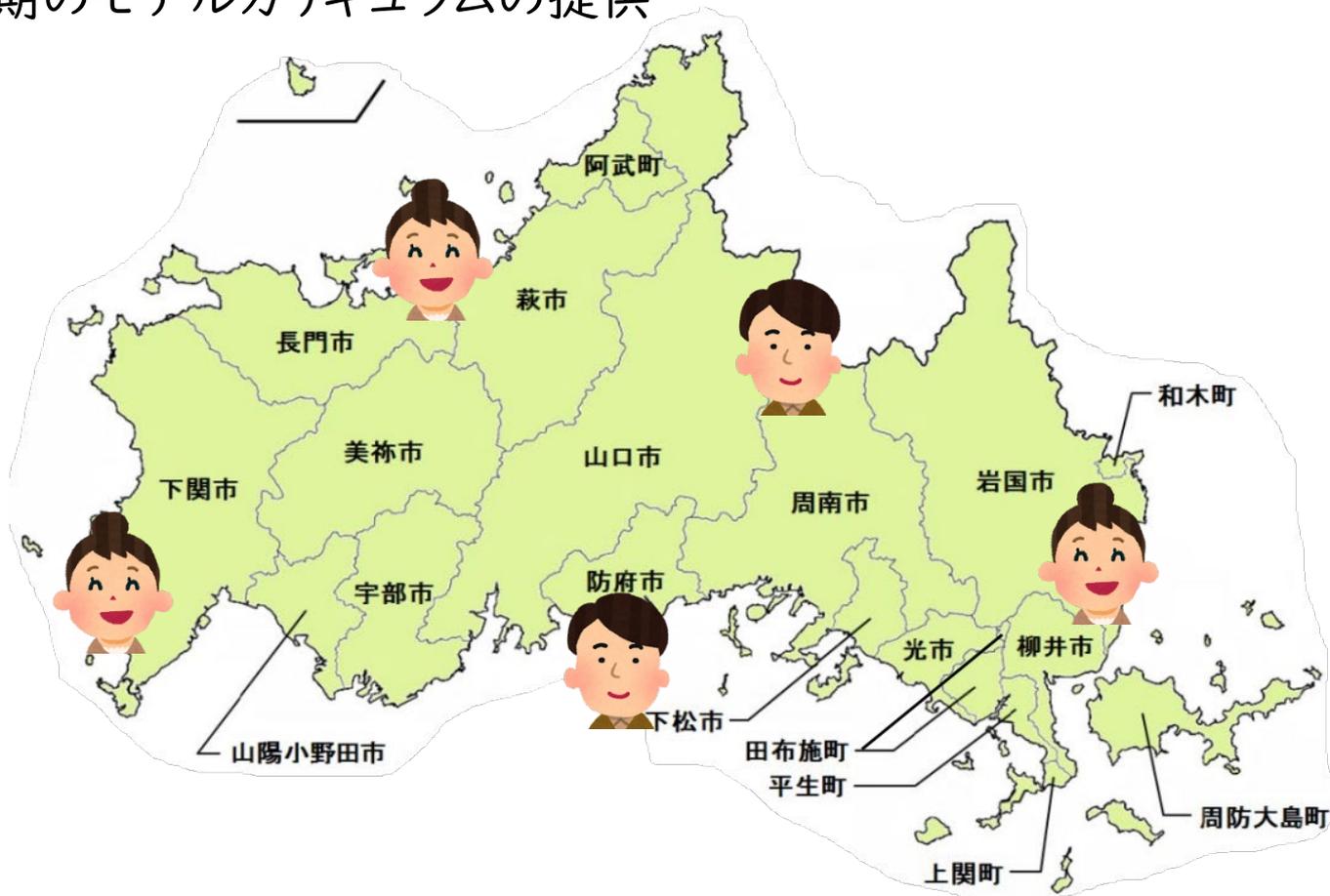
5 持続可能な取組とするための工夫



幼児教育・保育長期研修派遣教員の成果還元

山口県内に81人

- 各市町主催保幼小研修会における公開授業、事例発表、指導助言等
- 各小学校区における連携体制の構築
- 架け橋期のモデルカリキュラムの提供



5 持続可能な取組とするための工夫



資料の活用

つながる子どもの育ちと学び

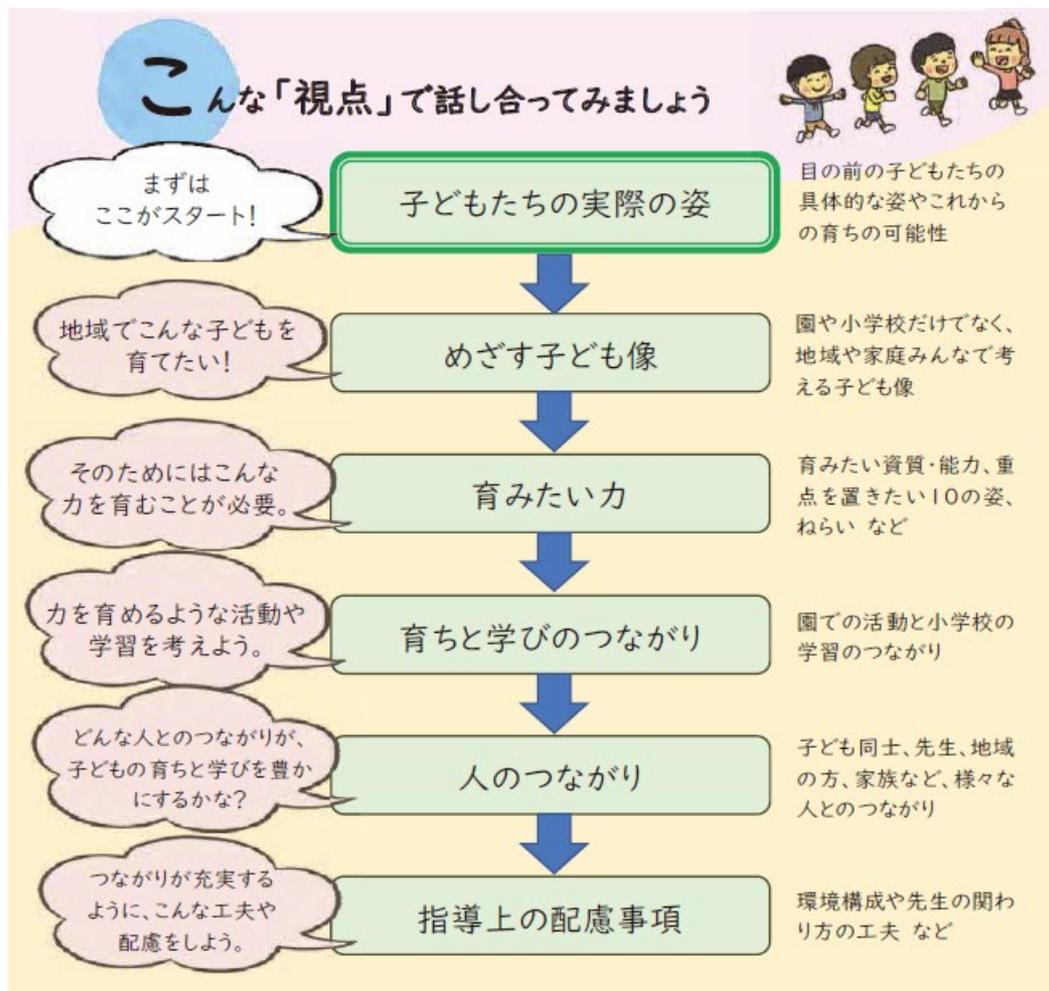
はじめの いっぽ

～保幼小連携、ここから始めよう～

子どもの育ちや学びはどのようにつながっているの？
どうして保幼小連携が大切なの？
何から始めたらいいの？
子ども達のために、どんなつながりが必要なの？



令和5年3月
山口県乳幼児の育ちと学び支援センター



リーフレット「はじめのいっぽ」

5 持続可能な取組とするための工夫



資料の活用

つながる子どもの育ちと学び

はじめの いっぽ

もういっぽ

～保幼小連携、これで充実させよう～

令和6年12月
山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

冊子「はじめのいっぽ もういっぽ」

Q & Aで!

STEP 0 保幼小連携って?

まずは「保幼小連携」に関する素朴な疑問について確認してみましょう。



Q1 どうして「保幼小連携」が大切なのですか?

A1 園と小学校が連携すると、子どもが安心感をもって園・学校生活を送ることができるようになるからです。子どもだけでなく、保護者も安心することができます。

山口県では、子どもの成長の過程にならって「保幼小」という文言を使用しています。文部科学省では「幼保小」を使用しています。

マンガで!

交流活動は、計画するのが、大変でしょうか?

まずは、一緒にできそうなことからスタートしてみませんか?

早速担当を、決めないか?

窓口は○○先生をお願いします。

例①: 保育・授業交流の場合

何のための交流か、互いに目的をもって、参加できるというですね。小学生がいつもお世話する側、園児がいつもお客さん、お世話される側...とは限りません。

交流活動での体験が園での遊びの発展につながることもあります。

例②: 日常的な交流の場合

必ず集合させて指示

儀式的なセレモニー

事前は何度も練習・準備

できれば、自然なやり取りができる交流がしたいです。園としては、活動の時間をたくさんとってもらえると嬉しいです!

もう一度

例③: 園児と小学生の交流

園児

小学生

活動を多く!

あと子どもに任せて!

自己肯定感

安心感

様々な学びの深まりUP!

実践例で!

<p>STEP 1</p> <p>先生がつながる事例</p> <p>市の取組 「はじめての研修会」</p> <p>行政が背中を押す「はじめてのいっぽ」</p> <p>→先生同士がつながろう～</p>	<p>① 教員研修の開催 園長主催研修</p> <p>② 参加人数 24名</p> <p>③ 参加の園 小学校数: 12園、11校</p> <p>④ 連携の現状 市主催の研修会を初めて開催しました。</p> <p>⑤ 教員研修の一貫 行政によるコーディネートで連携をスタートしました!</p>	<p>STEP 1</p> <p>6 取組の実践</p> <p>(1) 講義</p> <p>乳幼児の育ちと学び支援センターの役割を学び、教員の現状や連携を目的とした知識・経験・文化のギャップを埋める土壌に取組むことが重要であることを園には、「子どもが不思議に思ったことには、先生たちが不思議に思ったことと似た視点をもつことが重要である」と改めて</p> <p>(2) 事例紹介・グループワーク</p> <p>園からは、「興味のある遊びを通して」ある園の事例では、ヘビに興味をもった「ヘビの長さは何センチ?」といった疑問を解決したりすることで協働性や数量への興</p>
<p>1 ねらい</p> <p>○ 市内全ての園と小学校を対象とした保幼小連携の研修会を開催することにより、連携の必要性について共通認識をもち、各地域の実情に応じた連携の方法を考える。</p> <p>○ 市内全ての園と小学校の先生が集まり、他の園や学校で取り組んでいる好事例を参考にするここと今後の連携に生かせるようにする。</p>	<p>2 参加者 (女: 本実践の企画・運営担当者)</p> <p>○ 園 (12園) 園長、5歳児クラス担任 (計21人)</p>	

つながる子どもの育ちと学び

はじめの いっぽ

～保幼小連携、ここから始めよう～

子どもの育ちや学びは
どのようにつながって
いるの？

どうして保幼小連携が
大切な？

何から始めたら
いいの？

子ども達のために、
どんなつながりが
必要な？

令和5年3月
山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

つながる子どもの育ちと学び

はじめの いっぽ

もういっぽ

～保幼小連携、これで充実させよう～

令和6年12月
山口県乳幼児の育ちと学び支援センター